

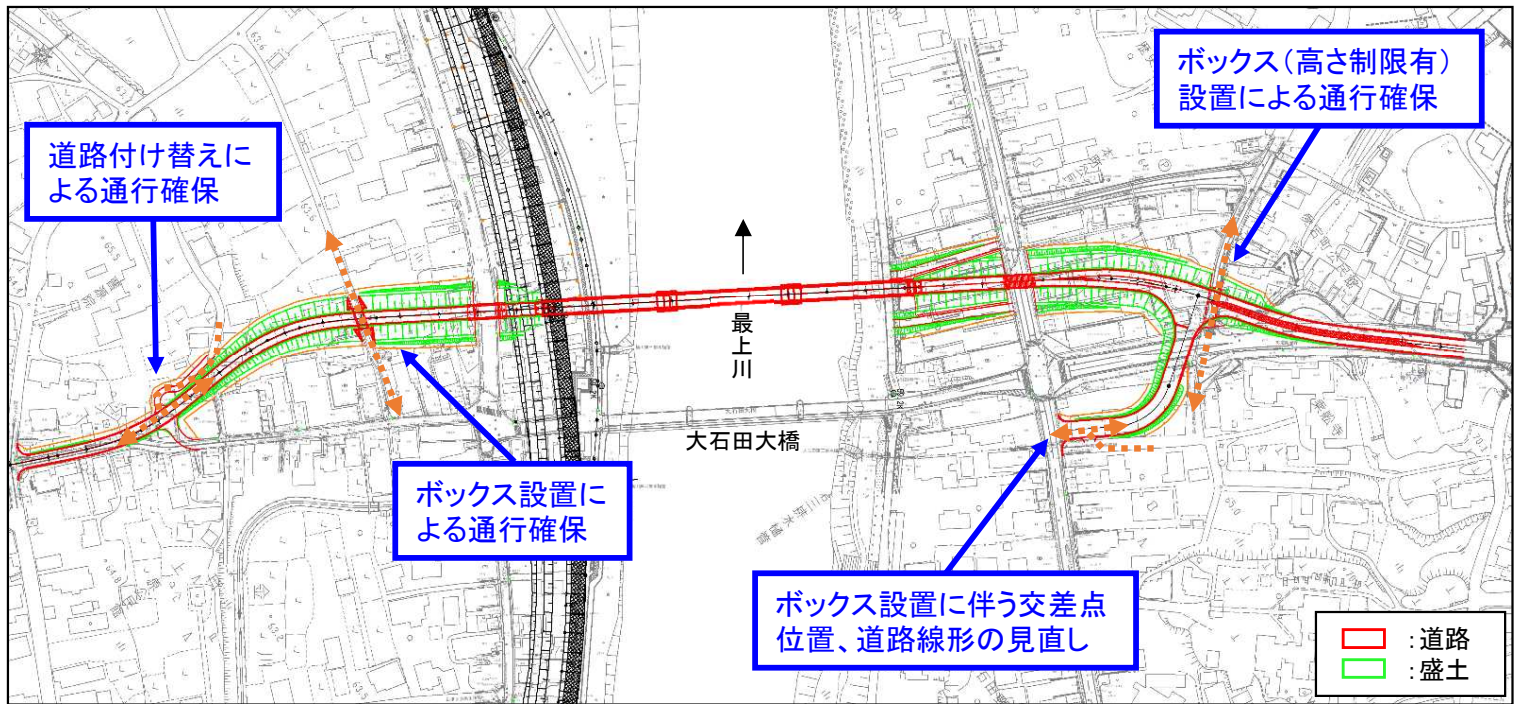
「大橋架け替えに関する事業計画及び用地調査説明会」を開催しました。

令和6年3月4日、7日に、横山、大石田それぞれの地区を対象に大橋架け替えに関する事業計画及び用地調査説明会を開催（新庄河川事務所・大石田町共催）しました。いただいたご意見を踏まえ、引き続き大石田町と協議のうえ、設計への反映を検討いたします。

3月4日横山地区



3月7日大石田地区



説明会でいただいたご意見、ご質問にお答えいたします。

Q:新しい大橋に歩道を設置してほしい。

A:現況機能の補償としての架け替えであり、現在の大石田大橋に歩道が無いことから、新たに整備する場合は大石田町の財政負担が生じてしまいます。新橋については、現在の大橋より道路幅員が広がる(5.5m⇒7m)ことから、その幅員の中で歩行者空間の確保を検討しています。(大石田町)

Q:擁壁構造で整備をしたほうが地域への影響が小さいのではないか。

A:施工性や経済性、維持管理の観点から、盛土構造での整備を基本としており、整備後の住環境の観点からも、擁壁構造よりも居住地域と道路との距離を確保できると考えております。事業用地近隣にお住まいの方の意向も確認しながら、今後、擁壁構造で整備する部分を検討していきます。(新庄河川事務所)

Q:治水事業により、まちなみや景観が大きく変わることから、まちづくりのプランも示してもらいたい。

A:令和6年2月9日にかわまちづくりに関するワークショップを開催し、若い世代の方や有識者の方から様々なご意見を頂戴しております。今後は、より具体的な方向で整理し、出来るだけ早く町民の皆様にも示せるよう努めて参ります。(大石田町)

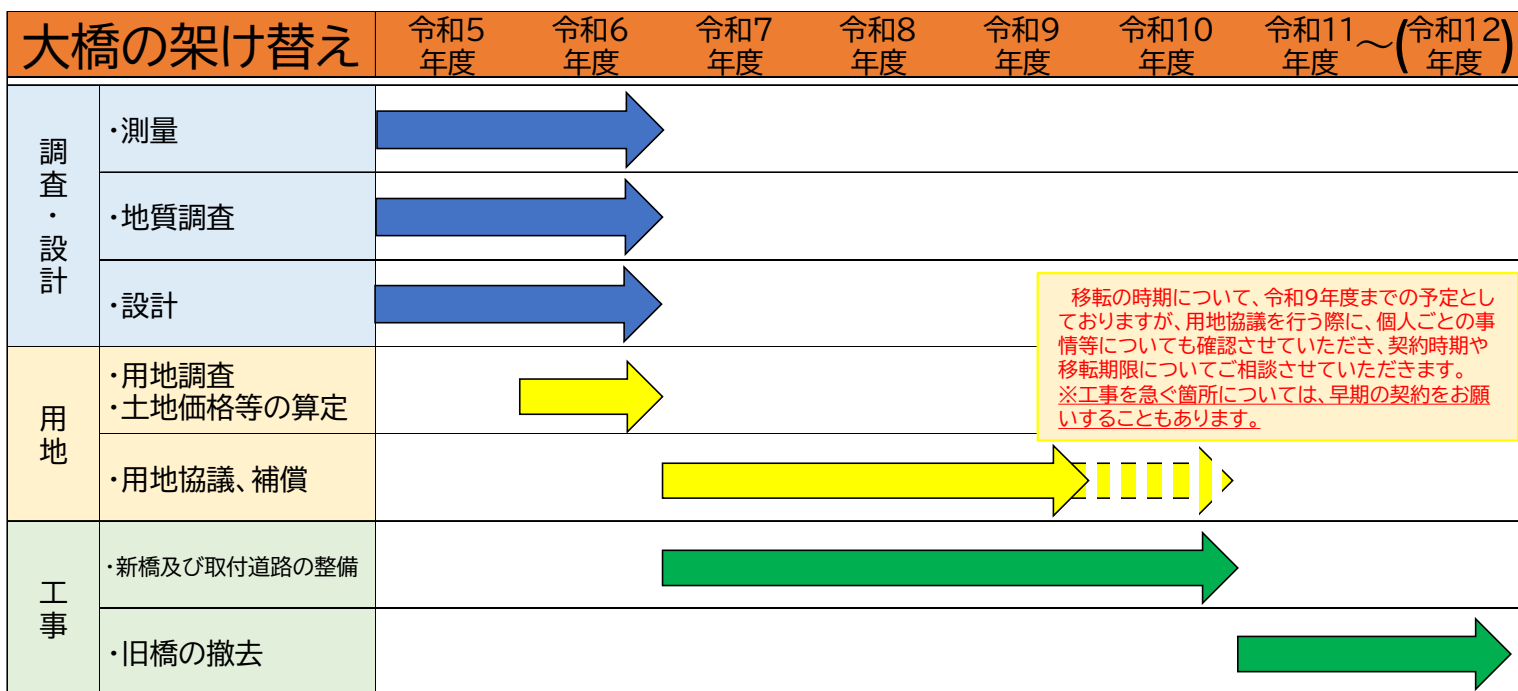
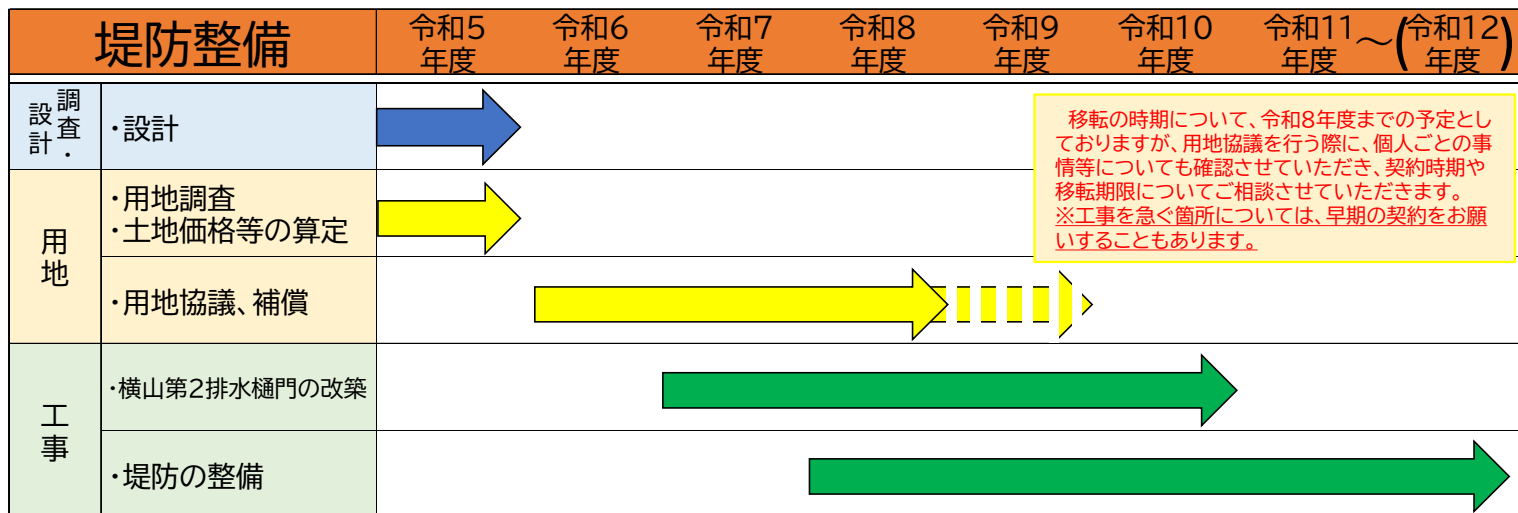
Q:新しい橋梁の開通はいつになるのか。緊急治水対策プロジェクトの全体スケジュールを示してほしい。

A:新橋の完成は令和10年度を目標に進めております。緊急治水対策プロジェクト全体のスケジュールについては裏面に掲載いたしましたのでご確認ください。(新庄河川事務所)

緊急治水対策プロジェクトの事業スケジュール

令和2年7月豪雨による甚大な被害を踏まえ、概ね10年間の期間で集中的に治水対策を推進します。

今年度は、現地にて地質調査や用地調査などの各種調査の実施にご協力いただき感謝申し上げます。工事関係は、令和7年度から実施する予定としておりますが、この時期から堤防整備と大橋架け替え工事全体を一斉に始めるわけではなく、用地の契約をさせていただき、土地の引き渡しを受けた箇所から順次工事を進めてまいります。



注)上記スケジュールについては、予算の配分や今後の進捗状況により変更になる場合もあります。



【もがみがわ中流・上流 緊急治水対策プロジェクトのお問い合わせ先】

治水対策に関する疑問や意見についてお気軽にお問い合わせください。

移転に伴う不安や問題についても、遠慮なくご相談ください。

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

事業全般に関すること/畑井 (TEL)0233-22-0251
事業計画に関すること/柴田 (TEL)0233-22-0254
用地に関すること /中村 (TEL)0233-22-0253

ホームページもご覧下さい
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyou>

大石田町 建設課
治水・定住対策グループ/松田
(TEL)0237-35-2111




<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



そばにーるくん